

会議録(会議結果概要)

名 称	第1回各務原市都市計画マスタープラン策定委員会		
開催日時	令和6年10月3日(木)14時 00 分～15時 35 分		
開催場所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室		
出席者	学識経験を有する者	市民または市内の 事業所に勤務する者	市職員
	はっとり あつし 服部 敦(委員長) かわぐち のぶこ 川口 暢子(副委員長) はぎわら たくや 萩原 拓也	つちだ しゅうきく 土田 周策 いしがき ときひろ 石垣 時広 えぐち かつみ 江口 克己 わたなべ たつみ 渡邊 辰巳 ながた みほ 永田 美帆 おおの まきたか 大野 雅尚	おおや みつぐ 大矢 貢 むらせ まこと 村瀬 誠 なかわら としお 中村 俊夫
議 題	次第 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員長・副委員長選出 5 委員長挨拶 6 諮問 7 議事 (1) 委員会の運営について (2) マスタープラン策定の進め方について (3) 現況及び課題整理 (4) 市民アンケートについて 8 その他 9 閉会		
	1 開会		
	≪事務局より説明≫		
	2 委嘱状交付		
	≪代表して服部委員に委嘱状を交付≫		
	3 市長挨拶		
	(市長) この度は、第 1 回都市計画マスタープランにご出席賜り誠にありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、都市計画マスタープラン策定委員会の委員を快く引き受けていただき改めて感謝申し上げます。 本委員会の構成は、学識経験をお持ちの方、あるいは市民の方、市内の事業所にお勤めの方々にお願いしております。学識経験をお持ちの方は、各務原市外でも多くのご活躍をされており、皆様がお持ちの知見で、各務原市にもお力添えいただければと思います。そして、市内にお勤めの方、お住いの方におかれましては、これから 10 年先、20 年先を思い描いていただき、日頃から住んでいる各務原市に対しての様々なご意見を伺えたらと存じます。 都市計画マスタープランは 10 年間の計画となっており、現在の都市計画マスタープランは平成 28 年度からスタートし、来年度にて最終年度を迎えます。平成 28 年度策		

	定当時、しっかりと計画を創り上げていただいたおかげで、現在の各務原市は他市から見ても元気で活力のある市となっているのではないかと考えております。先人の知恵に改めて感謝申し上げます。 今回作り上げる都市計画マスタープランについては、これから 10 年先を見据えた計画になりますが、皆様もご存じのとおり、現在全国各地の市町村の大半が人口減少による大きな課題を抱えております。各務原市は来年度より新しい総合計画をもとにまちづくりを進めていく中で、最重要課題としてこの「人口減少」に注目しております。 また、この都市計画マスタープランの計画を進めていく中で、「市街化調整区域の既存集落の維持」「市街化調整区域の鉄道駅周辺の良い住環境の確保」「工業用地の確保」が特に重要となってくると考えております。 様々な課題がある中、ぜひ皆様の知恵をお貸しいただき、令和 8 年度からスタートする都市計画マスタープランを創り上げていただきたいと存じます。 お忙しい中大変恐縮ではありますが、よろしくお願いいたします。
	4 委員長・副委員長選出
	「委員長に服部委員・副委員長に川口委員をそれぞれ選出」
	5 委員長挨拶
	「服部委員長よりご挨拶」 委員長に就任いたしました服部でございます。よろしくお願いいたします。 私は地元が犬山市のため、各務原市は日常の生活圏内です。市外在住ではありますが、皆様にお力添えいただきながら都市計画マスタープランの策定に貢献していきたいと考えております。 都市計画マスタープランを策定していく中で、近年増加している自然災害等の気象現象に対応していくことも都市計画マスタープランの大きな役割と考えております。また、各務原市が掲げている課題のひとつである人口減少におかれましても、都市と田園を兼ね備えております各務原市の魅力を活かしつつ、移住定住の促進も含め、いかに人口減少に対応できるかが重要になってくるのではないかと考えております。 これらの課題を踏まえて今度議論をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
	6 諮問
	「市長より委員長へ諮問」
	7 議事
	(1) 委員会の運営について 【事務局】 初めに、本日は委員全員にご出席をいただき、各務原市附属機関設置条例第 7 条第 2 項に規定されている定足数過半数に達しているため、本委員会が成立していることを報告する。 「事務局 説明」(資料1) 「質疑・意見なし」 【服部委員長】 傍聴要領の案については、この案のとおり決定することによろしいか。 「委員了承」 それでは、これ以降については、傍聴者の傍聴を認めることとするが、よろしいか。 「委員了承」

	【服部委員長】 本日傍聴者の方はお見えか。 【事務局】 傍聴希望者はいません。 【服部委員長】 わかりました。
	(2) マスタープラン策定の進め方について
	≪事務局 説明≫(資料 2) ≪質疑・意見≫ 【委員】 ・ 各務原市では同時期に緑の基本計画も改定されると伺っているが、都市計画マスタープランとの整合性などに関しては、市内の策定組織の中で整合されるのか、あるいは策定委員会の中で情報共有されるのか。 【事務局】 ・ 市内の検討委員会ではもちろん、緑の基本計画と合わせて策定委員会にも情報共有していく予定。 【委員長】 ・ 次回以降の進め方に関して、検討するにあたり、構成案を提示し、それがどの箇所を検討しているのか次回以降示してほしい。
	(3) 現況及び課題整理
	≪事務局 説明≫(資料 3-1, 3-2, 3-3) ≪質疑・意見≫ 【委員】 ・ 社会的課題に関して、現在国全体で見た時の人口等を引用しているが、全国と各務原市の特性を比較するなど、各務原市を中心に議論が始められると良いと感じた。 ・ 資料 3-2 で挙げられている人口、産業、土地利用、交通、安心安全、都市の持続的発展、この項目すべてなのかも含め検討する必要がある。前回の都市計画マスタープランでは、もう少し様々な項目があったように感じる。課題の整理の仕方が今後の構成にもつながっていくのではないかな。 ・ 課題を設定するにあたり、どの課題を一番に解決していくのか、着目していくのか決めていけば、もう少しどのような分析が必要か見えてくるのではないかな。 【委員長】 ・ 今後の課題のまとめ方について貴重な意見をいただいた。各務原市の課題を深めていけるよう事務局で検討をお願いしたい。 【委員】 ・ 各務原市の抱えている課題がよく伝わってきた。一方で、各務原の良さが何かを再確認すべきではないかと感じた。各務原市内の歴史的な位置づけ・背景等から拾い上げられる施策があるのではないかな。 ・ 土地利用に関して、災害の観点からはどうなのか。課題同士の突合せも重要になってくると考える。

	【委員長】 ・ 各務原市の良さをいかに高めていくかも重要な課題である。 【委員】 ・ 耐震の対策等、現在どの程度施策が進められているのか示して欲しい。 ・ 水害に関して浸水想定 10mとは、堤防が決壊したことを想定しているのか。 【事務局】 ・ 堤防が決壊するということではなく、雨が増水した時を想定している。お示ししているのは、想定される最大規模のもの。 【委員】 ・ 自治会としても今後災害が発生した際にどのように対応すべきか考えていく必要があると感じた。 ・ 交通に関して、各務原市は鉄道があり、高速道路等もあり非常に充実していると考ええる。 ・ 航空宇宙産業等も盛んであることをより広報していけば、各務原市の強みを生かしていけるのではないかな。 【委員】 ・ 自治会としては実際に災害が起きた時、何をすればよいのか具体的に教えてほしい。今後とも我々ができることを考えていきたい。 【委員】 ・ 人口の予測に関して、年齢層としては若年層が移住定住することを想定しているのか。 【事務局】 ・ 若年層や生産人口を上げることにより、人口の維持を図っていきたい。 【委員】 ・ 人口が現在増加している地域に関して、何が要因で増加したと考えているのか。 【事務局】 ・ 区画整理事業を行ったこと等による住環境の整備により、人口増加したと考えている。詳細は改めて分析が必要である。 【委員】 ・ 集合住宅団地に関して、将来的に施策を進めていくのか。 【事務局】 ・ 民間事業との兼ね合いもあるが、検討が必要ではないかと考えている。 【委員】 ・ すべて民間任せなのか。 【事務局】 ・ 市としても、今回の都市計画マスタープラン改定の中で検討していきたい。
--	---

	【委員】 ・ 市街化調整区域の既存集落に関して、どのエリアから施策を進めていこうと考えているのか。 【事務局】 ・ まだ検討段階ではあるが、まずは災害リスクが少ないエリアのうち、学校、鉄道駅周辺の既存コミュニティがあるエリアを中心に進めていこうと考えている。 【委員】 ・ 高齢者が居住している団地では現在空き家が増えてきている。耐震補強工事も含め、市全体でにぎわいが増えるまちづくりができていけばよいと感じた。 【委員】 ・ 工業用地に関して、これから策定していく都市計画マスタープランについては、事業者の意見もこれまで以上に反映されるとよい。 【委員】 ・ 現在人口が年に約 1000 人以上減少している状況で、10 年間の計画とはいえこれからの 30 年、40 年後の将来も踏まえ、人口減少を前提に計画をつくっていかねればいけないと考えている。 ・ 周辺市町も変化していく中で、各務原市だけでなく周辺地域のことも踏まえて考えていく必要がある。 【委員】 ・ 産業に関して、市内企業にヒアリングするとまだまだ業務拡大や、工業地の拡大を希望される声が届いているのが現状。よって重要な課題となってくると考える。 ・ 加えて、業務拡大をしたくても人手不足によりできないことも課題となっている。 ・ 産業用地の拡大には、市街化調整区域の農地などもターゲットになってくると考えるが、一方で農用地の保全も重要な観点であるため、しっかりと検討していきたい。 【委員】 ・ 市の人口が増加し、郊外部へ市街化が拡大してきた時代からフェーズが変わってきている。 ・ 人口減少の中で、空き家の増加、過疎化などの課題や市街化調整区域の在り方等これからの策定委員会の中で検討していきたい。 【委員長】 ・ 皆様のご意見をいただき、課題が出揃ってきた。課題が多岐にわたっているため、次回に向けて整理を進めていただきたい。
	(4) 市民アンケートについて
	≪事務局 説明≫(資料 4) ≪質疑・意見なし≫
	8 その他
	次回の策定委員会では、今回いただいたご意見のほか、市民アンケート結果や現計画の進捗確認をお示しし、課題の整理を進めていきたいと考えている。
	9 閉会
	以上で第 1 回都市計画マスタープラン策定委員会を終了とする。

	第1回都市計画マスタープラン策定委員会 終了
会議資料	資料1 :各務原市都市計画マスタープラン策定委員会の運営について(案) 各務原市都市計画マスタープラン策定委員会傍聴要領(案) 資料2 :各務原市都市計画マスタープラン改定方針 資料3-1:各務原市の現状及び課題整理 資料3-2:都市計画マスタープラン改定にあたっての課題 資料3-3:補足資料(人口密度・人口増減) 資料4 :市民アンケートについて